

第1回世界記録挑戦・結婚50周年お祝い部会 議事録

開催日時	令和元年6月20日(木) 18:30~19:45
開催場所	知立市役所現業棟 第10会議室
出席者	8名/9名
欠席者	1名/9名 (渡辺洋司委員)
事務局	企画政策課長補佐 政策係担当

1. 自己紹介 及び 2. 準備委員会での意見振り返り (事務局説明)

◆自己紹介及び事務局より配布資料等説明。

〈配布資料説明〉

- ・「実行計画シート」…本年度中に完成を目指し、来年度はこのシートをもとに事業を実施する。
- ・「各部会の振り分けについて」…部会のメンバーに一部変更があったため、配布。
- ・「その他世界記録挑戦関連資料」…野村部会長より提供があったもの。青年会議所が過去に世界記録を達成した際の記録。

〈準備委員会での意見振り返り〉

- ・世界記録挑戦は、市民が同じ目標を持って力を合わせて一致団結することにより、市民間交流、市民・行政間交流、世代間交流が深まることを狙っている。ただし、多額の費用がかかるため、開催方法等は要検討。
- ・結婚50周年お祝いは、来年度に結婚50周年を迎える夫婦を記念品の授与等でお祝いをする。

3. 実施内容について (世界記録挑戦)

◆次のとおり世界記録挑戦の一通りの流れを野村部会長から説明。

- ・世界記録挑戦の方法は2つある。
1つ目は、ギネスの公式認定員を当日現地に呼んで挑戦を行う。(その場で認定)
2つ目は、自分たちで記録に挑戦した動画を撮影し、証拠をギネスに送る。(最低3か月後の認定)
(お金を払えば、10日後ぐらいの認定になる可能性あり)

・世界記録への挑戦をサポートする業者

世界記録への挑戦に関する申請は無料で出来るが、英語でやり取りをしなければならない。

青年会議所は、「ブランド総合研究所」という挑戦サポート業者に委託をした。(216,000円)

なお、ギネスに事前相談で「イベントの趣旨」や「使用したいもの」「テーマ」等を伝えるとギネスから挑戦内容の提案であったり、〇〇すれば達成できる等の助言はもらえるそう。もし、新しいテーマを設けて挑戦をするならば、条件設定が必要になるため、ギネス本部とのやり取りは必須となる。

→挑戦サポート業者は、利用した方が良いのではとの意見が多かった。

・世界記録に挑戦するテーマ

これは今後部会員で話し合うところではあるが、経験談で言うと、「同時に〇〇人で〇〇する」系は人を集めるだけであり練習や物資も必要ないため達成しやすいが、それは同時に更新されやすいことにも繋がる。また、今回のように予算が限られている場合、「1分間で〇〇を〇〇する」のようなチャレンジを募集する方法もある。例えば事前に挑戦者の募集をかけて、当日ステージ上で記録に挑戦し、それをギネスに送り、後日正式に認定をされる。この方法ならば費用もかからず予算内での実施も見込めるが、当初目的の「市民一体」「協働」というようなテーマからは外れてしまう。

4. 実施内容について（結婚50周年お祝い）

◆事務局説明

事務局より次第裏のとおり、結婚50周年を迎える夫婦の推計を出したが、この「2,480組」は「来年がちょうど結婚50周年を迎える夫婦」のみを対象としたものではないため、これでは把握が出来ないと委員より指摘があった。しかし、これ以上対象者を正確に絞ろうとすると、市民課にある戸籍を1枚1枚手作業で確認するしかなくそれはまだ現時点では出来なかった。

事務局は、何らかの方法でもう少し対象者を絞れないか検討する。

◆伊東部会員より提案（別添資料のとおり）

別添のとおり金婚式の由来と当日のお祝い方法についてご提案いただいた。方向性としては、提案のあったクラウンパレスやパティオなどの「みんなで祝える場所」で祝うのが良いとなった。

このほか、山中委員・土田委員より、手段は考えるとして、当日対象者本人にはお祝いをする事を内緒にし、家族をこっそり呼んで突然会場でお祝いするような「サプライズ」や「家族・周囲を巻き込める要素があると良い」と意見があった。

5. その他意見（次第5. 6. の内容については現時点では決定が難しい）

・「結婚50周年の夫婦を〇〇組集めて〇〇する」等の「結婚50周年」を世界記録挑戦のテーマにすると良いのではないかと。

・当日参加した人には何かしらの記念品を渡したい。

・市制施行と同じ誕生日の人（12月1日）も別枠で何かあってもいいのでは。

・「世界記録達成」が最大の目的ではなく、「市民一体」となることが最大の目的である事を忘れずに。

・結婚50周年は、みんなにお祝いされるような企画作りをしていくべき。

6. 第2回部会について

◆開催日

7月30日 18時30分～ 知立市役所第10会議室

◆次回開催日までの課題

事務局：結婚50周年夫婦を把握する方法の検討

また、次の点について、ギネスに問い合わせる。

・『結婚50周年夫婦』をテーマにした記録の有無やテーマとなる可能性。

・認定までの流れ。（特に、証拠映像送付後の審査時間）→ギネス公式HPを確認した結果、5万円を支払うと証拠物提出後から10営業日以内に審査結果の回答が貰える。

委員：他事例などを参考に、結婚50周年夫婦の具体的お祝い方法のアイデア出し。

可能な範囲で対象者の把握（聞ける人は町内会等で確認）

また、ギネスからの回答次第では、世界記録挑戦のアイデア出しも必要。（その場合はLINEで依頼します）